

# 社会科学学習指導案

## 1 小単元名 江戸幕府と政治の安定

## 2 小単元について

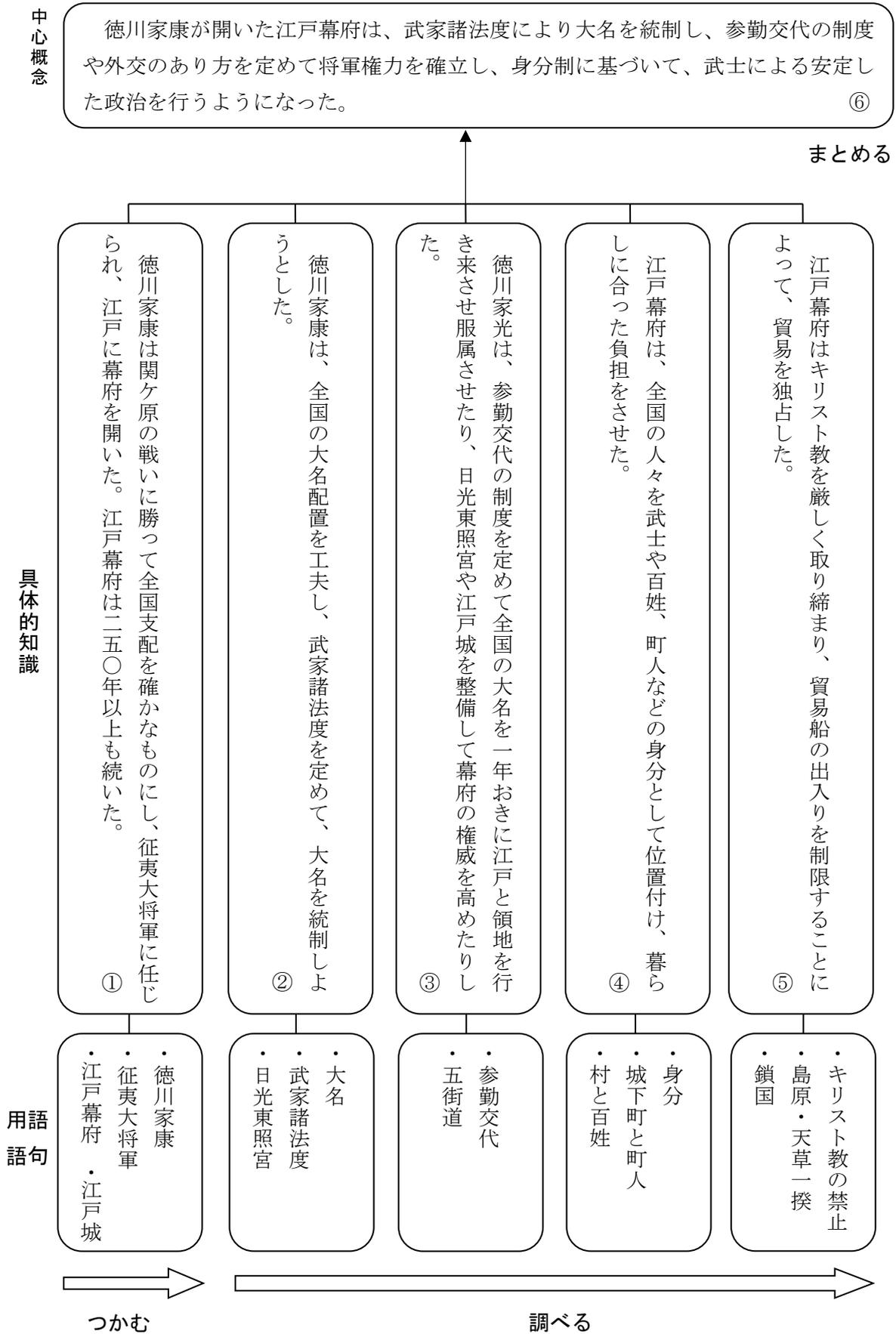
本小単元は、学習指導要領第6学年の内容(2)「我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」のア(知識及び技能)の(キ)「江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。」と(シ)「遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。」と、イ(思考力、判断力、表現力等)の(ア)「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。」を受けて扱うものである。

前小単元「戦国の世から天下統一へ」では、キリスト教の伝来や織田信長と豊臣秀吉による天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを学ぶ。それを受けて本小単元では、次の三つの社会的事象を手掛かりとして江戸時代について学習していく。一つ目は、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利を収めて江戸幕府を開いたということ、二つ目は、大名の配置や参勤交代、キリスト教の禁止、鎖国による貿易の制限などの江戸幕府の諸政策、三つ目は、武士を中心とする身分制の確立である。これらの事象を関連付けたり総合したりしながら、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを学んでいく。

本学級の児童は6年生になって始まった歴史の学習に対して、おおむね好意的な態度で取り組んでいる。各時代を代表する偉人の働きについて知るたびに、ときに驚き、共感したり非難したりと楽しみながら学習を進めている姿が多く見られる。一方で、過去の出来事と現在や自分自身とのつながりを感じにくく、歴史を自分事として捉えることが難しい児童や、予想や疑問をもちながら学習するのが難しい児童も数名いる。全ての児童が自ら問いを設定し、単元の見通しをもって学習を進めているとは言い難い。

そこで本小単元では、児童の疑問や予想をもとに問題解決的な学習を進めていくとともに、歴史事象を自分事として捉えられるようにする。「つかむ」では、豊臣秀吉の天下統一後わずか10年で関ヶ原の戦いが起きてしまったことと、その後徳川家康が開いた江戸幕府は250年以上も続いた事実を比較し、学習問題を設定する。その際、児童が予想した江戸幕府の政策を「大名に対して」「(大名以外の人々に対して)」「外国に対して」の3つに分類し、学習計画を立てていく。「調べる」では、幕府の諸政策について調べたのちに、それらの政策がどれくらい有効であったか評価する活動を設定する。評価する際には、大名や農民、国内のキリスト教徒らにどのような影響を与えたかをもとに点数化する。こうした政策評価を行うことで、児童は、自分なりの考えをもって江戸幕府による諸政策について主体的に調べていくとともに、江戸幕府による安定した政治についての理解を深めていけるだろう。「まとめる」では、これまで学習してきたことを振り返り、江戸幕府の政策について、複数の立場に立って評価する活動を設定する。そうすることで、江戸幕府によって250年以上も安定した世の中が続いていったことを児童が理解できるようにしていきたい。

#### 4 知識の構造図



## 5 小単元の目標

○江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などを手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解するとともに、文化財や地図、年表などの資料などで調べ、適切にまとめることができる。 【知識及び技能】

○我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問いを見いだし、江戸時代の政策の意図や社会の様子を考え、表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

○武士による政治の安定について、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

## 6 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え、適切に表現している。	①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことをまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	②江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。	

## 7 小単元の指導計画（6時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容	評価規準と評価方法
つかむ	1	<p>○ 豊臣秀吉が 1590 年に天下統一してからわずか 10 年後に関ヶ原の戦いが起こったことを知らせ、「関ヶ原合戦図屏風」から戦いの様子を読み取る。</p> <p>㊦ 徳川家康の生涯について知り、江戸幕府についての学習問題を作ろう。</p> <p>○ 徳川家康の生涯について年表をもとに調べる。</p> <p>○ 秀吉と家康の死後を比較し、江戸幕府が 250 年以上も続いたことから、学習問題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>学習問題 江戸幕府は、どのようにして政治を安定させていったのだろうか。</p>	<p>【思判表①】</p> <p>・江戸幕府の政策に着目して問いを見いだし、表現している。(発言・ノート)</p>

		<p>○ 前小単元での学習をもとに、全国統一に向けた政策と政治を安定させるための政策の違いを考え、学習問題に対する予想をする。</p> <p>《学習計画》</p> <p>①江戸幕府が大名に対して行った政策について調べる。</p> <p>②江戸幕府が人々に対して行った政策について調べる。</p> <p>③江戸幕府が外国に対して行った政策について調べる。</p>	<p>[主体的①]</p> <p>・関ヶ原の戦いの様子や徳川家康の生涯から、江戸幕府の支配体制について予想や計画を考えようとしている。</p> <p>(発言・ノート)</p>
調 べ る	2	<p>㊦ 徳川家康は、大名に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p> <p>○ 全国の大名配置や一国一城令、武家諸法度、妻子を江戸に住まわすことについて資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大名を親藩、譜代、外様に分けて工夫して全国に配置した。</li> <li>・ 一国一城令を出し、大名が住む城以外の破壊を命じた。</li> <li>・ 武家諸法度を出し、大名が守るべききまりを作った。</li> </ul> <p>○ 家康の政策を評価し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外様大名を江戸から離れた九州などに配置したから、攻めにくくなっていいと思う。</li> <li>・ 一国一城令によって、大名は戦いに備えるための城を持つてなくなったから、戦いを減らすことができたと思う。</li> <li>・ 細かいきまりを作ったことで、大名を従わせることができたと思う。</li> </ul>	<p>[知技①]</p> <p>・ 徳川家康が大名に対して行った政策について年表や地図、グラフなどの資料から調べ、徳川家康が大名に対して行った政策について理解している。</p> <p>(発言・ノート)</p>
	3 (本時)	<p>㊦ 徳川家光は、大名に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p> <p>○ 日光東照宮や江戸城の改修、参勤交代、土木工事などの普請役について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日光東照宮や江戸城を改修した。</li> <li>・ 参勤交代を武家諸法度に加え、全ての大名に1年おきに江戸と領地を行き来させた。</li> <li>・ 妻子を江戸に住まわすことで、人質とした。</li> <li>・ 土木工事を命じたり五街道を整備したりした。</li> </ul> <p>○ 家光の政策を評価し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日光東照宮や江戸城を改修したことで、幕府の力を見せつけることができたと思う。</li> </ul>	<p>[思判表②]</p> <p>・ 徳川家光が大名に対して行った諸政策について調べたことをもとに評価をすることで、徳川家光の政策が大名に与えた影響について考え、表現している。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参勤交代によって、江戸に遠い外様大名はより負担が大きくなったと思う。</li> <li>・ 妻子が人質になっていたことで、大名は家光に逆らえなくなったと思う。</li> <li>・ 大名に対して厳しすぎると思う。これでは大名が江戸幕府に反抗したくなってしまおうと思う。</li> </ul>	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>㊦ 江戸幕府は、人々に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸時代の身分とそれぞれの暮らしについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 城下町では、身分によって住む場所が分かれていた。</li> <li>・ 町人は町人地に住んで、さまざまな仕事をした。</li> <li>・ 百姓は村に住み、五人組という仕組みで税を納めた。</li> <li>・ それぞれの暮らしにあった税を負担させた。</li> </ul> </li> <li>○ 江戸幕府が行った身分制について評価し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百姓の負担が大きくてかわいそうだと思う。</li> <li>・ 大名同士の戦いはなくなったけれど、武士以外の人々は税が重くて大変そう。</li> </ul> </li> </ul>	<p>[知技①]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵や地図、グラフなどの資料を読み取り、江戸時代の身分制度と人々の暮らしについて理解している。</li> </ul> <p>(発言・ノート)</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>㊦ 江戸幕府は、外国に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸時代初期の貿易やキリスト教の禁止、鎖国について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕府は始め、朱印状を作って貿易を盛んにしようとしていた。</li> <li>・ キリスト教徒が幕府に従わなくなることを心配して、キリスト教を禁止した。</li> <li>・ 徳川家光が島原・天草一揆を抑え、より厳しくキリスト教を取り締まるようになった。</li> <li>・ 貿易国と貿易船を限定し、鎖国を始めた。</li> </ul> </li> <li>○ キリスト教の禁止や鎖国について評価し、話し合う。</li> </ul>	<p>[知技①]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵や地図などの資料を読み取り、キリスト教禁止の意味や鎖国のもとでの日本と外国との関係について理解している。</li> </ul> <p>(発言・ノート)</p>

ま と め る	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">         ㊦ 江戸幕府は、どのようにして政治を安定させていったのだろうか。       </div> <p>○ これまでの学習をもとに、大名、百姓や町人、キリスト教徒やオランダ人の立場から幕府の政策を評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>大名</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参勤交代や土木工事は負担だけれど、妻や子が人質になっているから従うしかない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>百姓や町人</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税の負担が重くて大変だ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>キリスト教徒やオランダ人</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キリスト教を自由に信仰したい。</li> <li>・ オランダが貿易を独占できてうれしい。</li> </ul> <p>○ 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 江戸幕府は、武家諸法度を定め、参勤交代や鎖国を行い、身分制によって武士による政治を安定させていった。それにより、戦いのない世の中が 250 年以上続いた。</p> </div>	<p>[思判表②]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現している。 (発言・ノート)</li> </ul> <p>[知技②]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことをまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。</li> </ul>
------------------	---	--	---

## 8 市教研社会科研究主題解明のための方策

新たな社会の担い手として生きる力を育む社会科学習  
～児童生徒が社会的な見方・考え方を働かせる問題解決的な学習を通して～

<本年度主題解明のための方策>

- 研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫
- 研究内容 2 問題解決的な学習につながる指導法の工夫
- 研究内容 3 指導と評価の一体化

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫

○ 児童の予想をもとに立てる学習計画の工夫

「つかむ」では、群雄割拠の戦国時代をついに豊臣秀吉が統一したものの、そのわずか10年後には日本を東西に分けて戦う関ヶ原の戦いが起きてしまったことを年表で児童に提示する。そして、徳川家康によって開かれた江戸幕府は250年以上も続いたことと秀吉による天下統一の期間とを比較することで、児童が「なぜ江戸幕府は長く続いたのか」に興味を持てるようにする。これまでさまざまな為政者について学習してきた児童は、江戸幕府の政策に何か長く続く秘訣があると考えられるだろう。そのような既習を生かした児童の予想から「江戸幕府は、どのようにして政治を安定させていったのだろうか。」という学習問題を設定する。小単元の学習計画を立てていく際には、学習問題に対する児童の予想をもとにする。児童から挙がった意見を「大名への政策」「(大名以外の)人々への政策」「外国への政策」の3つに分類していく。それらを学習計画とすることで、児童の考えを尊重するとともに見通しをもって学習に臨めるようにしていきたい。

○ 江戸幕府の諸政策を評価する活動

歴史の学習において、それぞれの時代の歴史事象に対して自分の考えをもちながら学習を進めていくことはとても大切である。そこで本小単元では、政策を学ぶ過程で「どれくらい有効な政策であったか」を考え、評価する活動を行う。評価する際には、初めに諸政策がそれぞれの立場の人に対してどのような影響があったかを根拠に点数化し、次にその政策を行った人物に対して総合評価をする。こうした評価する活動を「大名」「(大名以外の)人々」「外国」に対して学習していく。そうすることで児童は、江戸幕府による諸政策についての理解を深めるとともに、歴史事象に対して自分なりの考えをもてるようになるだろう。このように、「調べる」過程において政策評価をする活動をくり返し設定することによって、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていきたい。

## 9 本時の指導（3／6）

### （1） 本時の目標

- 徳川家光が大名に対して行った諸政策について調べたことをもとに評価をすることで、徳川家光の政策が大名に与えた影響について考え、表現している。（思考力、判断力、表現力等）

### （2） 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
5	<p>1 徳川家康と家光の武家諸法度を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家光の代に「参勤交代をすること」と「きまりを守ること」という文が加えられている。</li> <li>・家康だけでなく、家光も大名に対する政策を行ったようだ。</li> <li>・参勤交代では、様々な役割をもった人が行列を作って歩いているけれど、どのような制度なのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家康と家光の武家諸法度の部分要約を提示し、家光の代に追加された文に着目させることで、学習問題を設定できるようにする。</li> <li>○ 図屏風を提示することで参勤交代について具体的なイメージをもたせ、興味を高められるようにする。</li> </ul>	<p>「武家諸法度」</p> <p>「加賀藩の参勤交代図（図屏風）」</p>
<p>徳川家光は大名に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p>			
3	<p>2 「加賀藩の参勤交代図」を見て、学習問題に対する予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸の家光に会いに行く制度だと思う。</li> <li>・豪華な参勤交代は、とてもお金がかかりそうだから、大名にお金を使わせる制度だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「加賀藩の参勤交代図」を提示することで、家光の政策を予想しやすくなるようにする。</li> </ul>	<p>「加賀藩の参勤交代図（図屏風）」</p>
15	<p>3 家光が行った政策について教科書をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参勤交代という制度を定めて、全ての大名に1年おきに江戸と領地を行き来させた。</li> <li>・土木工事を命じたり、五街道を整備させたりした。</li> <li>・江戸での生活にはお金がかかり、大名の負担になった。</li> <li>・日光東照宮や江戸城を改修した。</li> <li>・武家諸法度に違反した大名は取りつぶしにあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の本文と他の資料を関連付けられるよう補助発問をしながら読んでいくことで、家光の政策について具体的に理解できるようにする。</li> </ul>	<p>教科書 P80, 81</p> <p>「参勤交代にかかった日数（地図）」</p> <p>「薩摩藩と木曾三川の治水（コラム）」</p> <p>「加賀藩の歳出（グラフ）」</p> <p>「日光東照宮（写真）」</p>
17	<p>4 家光の政策を評価し、考えを交流する。</p> <p><b>【高評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日光東照宮や江戸城を改修したことで、徳川幕府の力の大きさを大名に見せつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家光の政策が全国の大名にどのような影響を与えたか根拠を明確にしながら評価するよう助言する。</li> </ul>	<p>○人物評価ワークシート（別紙）</p>

けることができたと思う。

- ・参勤交代は江戸から離れた外様大名ほどお金がかかって負担になったので、いい政策だと思う。
- ・幕府に反抗したくても取りつぶしは嫌だし、妻子も人質に取られているので、大名たちは幕府に従うしかなかったと思う。
- ・家康の政策よりも、大名はさらに幕府の言いなりになっていると思う。

【低評価】

- ・大名に対して厳しすぎると思う。これではいつか大名が江戸幕府に反抗してしまうと思う。

5 5 本時のまとめをする。

徳川家光は、大名に対して、日光東照宮や江戸城の改修を命じたり、参勤交代を武家諸法度に入れて制度化したりした。さまざまな政策によって、大名はより幕府に従うようになった。

○ 自分がつけた点数のところに名前札を貼らせ、児童全員の点数を板書に整理することで、考えの交流をしやすいとする。

○ 友達の意見を聞いて、評価を書き換えたり、理由を書き加えたりしてもいいことを伝える。

◆ 徳川家光が大名に対して行った諸政策について調べたことをもとに評価をすることで、徳川家光の政策が大名に与えた影響について考え、表現している。

(発言・ワークシート)